Press Release

**報道関係各位**

2026年11月4日
戸田建設株式会社
株式会社ピエクレックス

**Team P-FACTSが推進する「着るグリーンテック」社会実証プロジェクトの中核拠点**

# ピエクレックスと戸田建設、GREEN×EXPO 2027にて都市型堆肥舎「メグルノキ」を共同展開

**～公式ユニフォーム製造時の端材等を活用し、アパレルを自然に還すプロセスを会場内で実践・可視化～**

株式会社ピエクレックス（本社：滋賀県野洲市、代表取締役社長：玉倉大次、以下「ピエクレックス」）と戸田建設株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：大谷清介、以下「戸田建設」）は、GREEN×EXPO 2027における「Team P-FACTS（チーム・ピーファクツ）」の「着るグリーンテック」社会実証プロジェクトの一環として、アパレル資源循環の実証拠点となる都市型堆肥舎「メグルノキ」を共同で展開します。



メグルノキ
イメージ図

Team P-FACTSは、GREEN×EXPO 2027で活動される1万人以上のボランティア・アテンダントスタッフの皆さまが着用する公式ユニフォームを起点に堆肥化プロセスを活用して衣服を分解し、自然に還す資源循環の社会実証に取り組みます。

今回展開する「メグルノキ」では、公式ユニフォームの製造時に発生する端材などの生分解性の生地を活用し、循環の要となる「アパレルを自然に還す」取り組みをGREEN×EXPO 2027会場内で実践・可視化します。

ピエクレックスが推進する循環インフラ「P-FACTS」（ピーファクツ）と、戸田建設が培ってきた空間づくりの技術および都市空間への実装力を掛け合わせることで、来場者が資源循環を見て・感じて・理解できる場を創出するとともに、都市空間における新たな資源循環モデルの可能性を発信してまいります。

## ■「メグルノキ」について

「メグルノキ」は、アパレルが自然に還る循環を、GREEN×EXPO 2027 会場内で見える形にする都市型の資源循環実証ラボです。

名称には、堆肥化プロセスを活用してアパレルが分解されていくという循環に加え、木材や実証装置が会場、そして会期後の新たな場所へと「巡っていく」という意味を込めています。また、「ノキ」は、日陰や軒をつくる建築の形と、木造にこだわった空間であることを表現しています。

「メグルノキ」では、都市空間や公園景観に調和する木造空間の中で、堆肥化装置や公式ユニフォーム展示などを通じて、アパレルが自然に還り、次のいのちを育む循環を来場者が体感できる場を創出する予定です。

## ■「メグルノキ」で実施する主な内容

### 1. 公式ユニフォームの端材等を活用したアパレルを自然に還す実証



GREEN×EXPO 2027 ボランティア・アテンダントスタッフ公式ユニフォームの製造時に発生する端材等の生分解性の生地を活用し、アパレルを自然に還すプロセスを会場内で実証します。これにより、アパレルを「使い終わったら廃棄するもの」ではなく、「自然に還すもの」として捉える新たな循環モデルを、来場者の目の前で示します。

### 2. 資源循環を体感できる都市型堆肥舎の創出

Team P-FACTS は、構成員である戸田建設が培ってきた空間づくりの技術を活かし、GREEN×EXPO 2027 会場内に都市型堆肥舎「メグルノキ」の展開を計画しています。「メグルノキ」は、単に堆肥化装置を収める建屋ではなく、都市空間や公園景観との調和、来場者の見やすさ、さらには建屋自体のサステナビリティも考慮した、資源循環を見て・学んで・体験できる場として計画しています。

### 3. 来場者が循環を学ぶ展示・体験

「メグルノキ」では、堆肥化装置の稼働状況や公式ユニフォームの展示、堆肥化プロセスの紹介などを通じて、アパレルが自然に還るまでの過程を、来場者が見て・感じて・理解できる体験を提供します。子どもから大人まで直感的に理解できる展示・体験コンテンツを通じて、身近な衣服を入り口に、アパレルの資源循環を自分ごととして捉えられるようにすることを目指しています。

## ■ ピエクレックスと戸田建設の役割

### ●株式会社ピエクレックス

Team P-FACTS 代表構成員として、循環インフラ「P-FACTS」に基づくアパレル資源循環の設計、公式ユニフォームの端材等を活用した循環の実証、展示・体験コンテンツを通じた循環価値の発信を推進します。

### ●戸田建設株式会社

Team P-FACTS 構成員として、GREEN×EXPO 2027 会場内における都市型堆肥舎「メグルノキ」を通じて、資源循環を都市空間に実装する役割を担います。

両社は、それぞれの知見を掛け合わせることで、アパレル資源循環の要となる「自然に還す」取り組みを都市の中で実践・可視化し、循環型社会の実現に向けた新たなモデルづくりに取り組んでまいります。

## ■コメント

### ●戸田建設株式会社　代表取締役社長　大谷 清介

ピエクレックスが推進する『P-FACTS 構想』に共感し、Team P-FACTS 構成員として本博覧会に参画いたします。持続可能な循環型社会の実現は、建設業においても極めて重要なテーマです。この「メグルノキ」を通じて、来場者の皆さまが明日の社会のあり方を考えるきっかけとなることを期待しています。

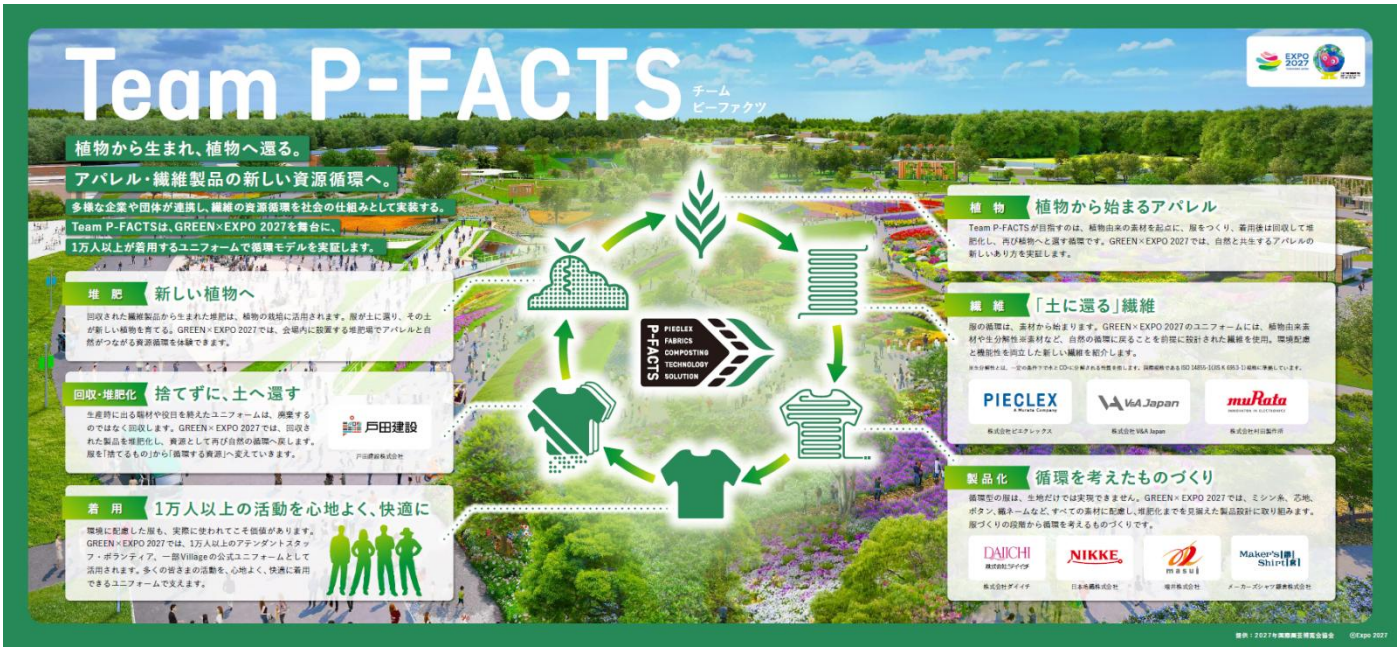
### ●株式会社ピエクレックス　代表取締役社長　玉倉 大次

「P-FACTS」は、アパレル製品を使い捨てるのではなく、自然に還し、次の植物を育む循環インフラを構築する取り組みです。今回、戸田建設とともに「メグルノキ」を展開することで、GREEN×EXPO 2027 における「着るグリーンテック」社会実証プロジェクトを、来場者の皆さまに見える形でお伝えしてまいります。

## ■Team P-FACTS が進める「着るグリーンテック」社会実証プロジェクト

ピエクレックスが代表構成員を務める「Team P-FACTS」は、GREEN×EXPO 2027 にプロジェクト協賛プラチナパートナーとして参画することを 2025 年 10 月に発表しました。

2026 年 3 月には、GREEN×EXPO 2027 で活動する 1 万人以上のボランティア・アテンダントスタッフの皆さまが着用する公式ユニフォームのデザインを発表するとともに、戸田建設を含む 6 社の構成員の参画も発表し、実証に向けた体制を拡大しています。




提供：２０２７年国際園芸博覧会協会

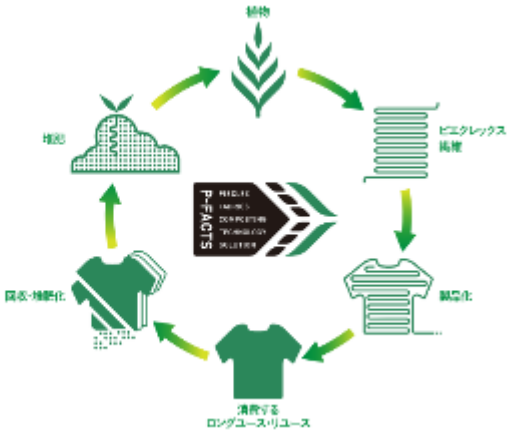
今回展開する「メグルノキ」は、本プロジェクトにおけるアパレルを自然に還す取り組みの中核拠点として、循環のプロセスを GREEN×EXPO 2027 会場内で実践・可視化するものです。

## ■「P-FACTS」（ピーファクツ）について

ピエクレックスが推進する循環インフラ「P-FACTS」（ピーファクツ：PIECLEX FAbrics Composting Technology Solution）は、植物由来の繊維製品を使用後に回収し、堆肥化を通じて再び自然に還すサーキュラー・テキスタイル・インフラです。

「着るだけ、使うだけ」で誰もが循環に参加できる未来を目指し、すでに複数の自治体・企業・教育機関と連携して社会実装が進んでいます。対応製品には「P-FACTS 認証マーク」が付与され、堆肥化によって新たな植物を育む循環の象徴として機能しています。

PIECLEX
FAbrics
Composting
Technology
Solution



**P-FACTS 認証マーク**

繊維が堆肥となり、新たな植物が芽吹く様子をデザインしています。

## ■ 株式会社ピエクレックスについて

イノベーションを通じて世界に貢献する村田製作所の 100%子会社として、企業ビジョン「“でんき（電気）のせんい（繊維）”で世界を変える」を掲げ、電気の繊維「ピエクレックス」を通じた革新を推進しています。村田製作所と帝人フロンティアの共同出資によって設立され、両社の強みを融合させた新素材「ピエクレックス」を開発しました。「ピエクレックス」は革新性とともに環境へのやさしさを兼ね備えており、アパレル、ヘルスケア、一般消費財、産業分野など、幅広い用途に応用可能です。

現在、株式会社ピエクレックスは多くの繊維関連企業と協力し、持続可能な社会の実現に向け、循環インフラ「P-FACTS」の社会実装に取り組んでいます。P-FACTS 認証の製品を「着るだけ、使うだけ」で、地球にも人にもやさしい未来を実現するために、今後も新たな価値を創造し続け、社会に貢献していきます。

## ■ GREEN×EXPO 2027 にプラチナパートナーとして参画

株式会社ピエクレックスは、GREEN×EXPO 2027 において、当社が代表構成員を務める「Team P-FACTS」を通じ、会場運営プロジェクトのプラチナパートナーとしてボランティアおよびアテンダントスタッフの公式ユニフォームを提供します。加えて、当社単独でも、にぎわい創出プロジェクトのプラチナパートナーとして参画し、来場者の体験価値創出にも取り組んでまいります。



公式サイト：https://pieclex.com/
公式 YouTube チャンネル：https://www.youtube.com/channel/UCAoOivJOkh2MEDywpvSLXGA
公式 X アカウント：https://x.com/PIECLEX_JP
公式 Instagram アカウント：https://www.instagram.com/pieclex_official/


**«本件に関するお問い合わせ先»**

戸田建設株式会社　広報部 (担当：清水)
TEL：03-3535-1356　MAIL：yoshikatsu.shimizu@toda.co.jp

株式会社ピエクレックス（担当：井上）
TEL：077-586-8135　MAIL：information@pieclex.com